

川崎益太郎 選

特選

登下校皆の片手に扇風機

広島市立船越中学校三年 大川 航平

【評】異常な暑さが続く中、手に持つ扇風機が若者の間で、爆発的に大流行。時代を捉え、上手く俳句に仕上げた。

彼岸花毒をもったおひめ様

府中町立府中小学校三年 中村 楓香

【評】彼岸花に毒は、知られているが、それを姫に見たてたことに感銘。中六の字足らずが残念で、二位と劣後させた。

赤とんぼかわいいけれどふしあわせ

廿日市市立佐方小学校三年 和田 光以

【評】群れ飛んでいる赤とんぼを、不幸せと感じた斬新な感性に驚いた。言われてみれば、そうかもと納得させられた。

花火より耳に残るは君の下駄

広島市立瀬野川中学校三年 小林 美結

【評】「恋は盲目」というが、初めて見た彼女の下駄履き姿に、ますます恋心が燃え上がったという切ない句。その後は。

氷水とけてもとけぬ一問目

県立呉商業高等学校三年 井上 心彩

【評】かき氷は、溶けても問題は解けないという、学生らしい悩みを、リフレインを使って、面白く表現した句。

入
選

久しぶりマスクはずせる夏休み

比治山女子中学校二年 渡辺 実彩

ランドセル鉄板ぐらい暑すぎる

坂町立横浜小学校五年 波田 典惺

うちわ捨て予算見て買う最新機

県立吉田高等学校二年 中元 悠斗

彼岸花嫌い嫌われ愛される

東広島市立向陽中学校三年 中村 心

そのままはそらからできたまめなのか

大竹市立大竹小学校四年 柳井 桃汰

出番だぞ！納められてた扇風機

県立広島皆実高等学校三年 中村 樹

見れたけど願いが言えない流れ星

福山市立誠之中学校三年 平田 未来

とんぼの目おっこちてきたためずらしい

海田町立海田小学校二年 松野 壮真

桜貝自然が生んだ美しさ

広島市立中山小学校六年 香取 碧

さくらんぼ君とすごした甘い恋

福山市立誠之中学校三年 木之下 さら

受験生全国敵に本開く

呉市立呉高等学校二年 冲原 心実

彼岸花毒があるから気をつけて

府中町立府中中学校二年 山形 瑛登

散らないで金木犀と僕の恋

福山市立誠之中学校三年 立石 美月

本を読みめぐりめぐられ扇風機

広島市立船越中学校三年 岡本 大明

風船がぼくの未来を映してる

大竹市立大竹小学校六年 三浦 翔大

人混みでかすむあなたは朧月

福山市立駅前中学校三年 藤原 絢香

雷が怒って空を光らせる

廿日市市立佐方小学校五年 平川 麻也

梅雨の中忘れた傘が罪深い

県立呉商業高等学校一年 佐川 琉也

ピチピチと舌がちくちくサイダーだ

坂町立横浜小学校四年 高橋 美優

雷はこわいもこえてきれいだな

廿日市市立佐方小学校五年 多原 美羽

川崎益太郎 選

特選

虹たてば母のかけらを探しをり

東広島市 河上多美子

【評】虹と母との取り合せ。〈かけら〉としたことが斬新。一見不謹慎にも見える言葉に、母に対する深い愛情が読める。

噴水やをさなき嘘にだまさるる

広島市 熊谷 純

【評】噴水と嘘の取り合せ。〈をさなき嘘〉が、幼稚な嘘か、幼子の嘘か、両方に読めて面白い句。最後は水に流そう。

天敵のスリッパかわす御器かぶり

広島市 関 秀美

【評】スリッパを天敵と見立てたことが上手い。「ごきぶり」でなく〈御器かぶり〉した俳味。とにかく、面白い句。

初春や百寿の母の薄化粧

福山市 宮本 昭信

【評】初春・百寿・薄化粧の三つの取り合せ。長くゆったり流れた親子の歴史が見え、これからも続く幸せに乾杯。

此の年で素直になれぬねじり花

広島市 久米 美枝

【評】「三つ子の魂百まで」の諺を裏に詠んだ句。これも個性と開き直っている作者が見える。これからもこのままで。

入
選

この星は永久に続くか麦熟るる

東広島市 香川不可止

わが病父母に愚痴愚痴墓参り

広島市 石原千代子

流れ星神のおはじきはじまりぬ

広島市 梶原美江子

ひとつ脱ぎまたひとつ脱ぐ夏衣

広島市 林 たかし

爪痕の余りに深き梅雨出水

東広島市 山田美佐子

思ひ出は身勝手でいい青葡萄

福山市 栗本 リカ

父の日の心の中の父の顔

広島市 小玉 敬子

凜乎たるこども代表広島忌

広島市 鷺見 葦月

束の間の昼寝貪る厨妻

尾道市 浜本真知子

清貧や虹を映して潦

尾道市 前中 吾一

代田搔く一筆書きのように搔く

福山市 瀬尾ちとみ

紅をさし遠退く吾子や七変化

呉市 藤本 卓昭

「なんでこうなるの」連呼の二才夏

山県郡安芸太田町 齊藤たえ子

フラガール素足の爪は海の青

福山市 井上 芳香

過疎村の案山子も後期高齢者

廿日市市 粟屋 治

桜蕊降る甲骨文字の形して

尾道市 砂田 千春

白雨きて乏しき村を洗ひ去る

庄原市 稲垣サカエ

頼りなき勘を頼りの西瓜割り

広島市 天王 省治

ひと言の足らずを悔いる葱坊主

福山市 高橋 泰女

見上げれば空を突き刺す立葵

広島市 中越 麻悠